

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	都整 - 10	河川管理運営事業	☐ 法定受託事務	
所管課	都市整備部 道水路調査課		評価者 道水路調査課長 小関 雅彦	
一般	会計	款 45	項 15	目 5
総合計画上の位置付け	分野名	下水道・河川	施策の方針名	河川の整備・管理

1 事業の目的

対象	河川維持管理協力団体等	意図	河川管理事業の円滑な推進を図るため。
効果	協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	河川清掃及び生態系調査	（親水環境整備事業・河川施設運営事業に統合）	
予算額（千円）	1,529	1,469	
国県支出金			
地方債			
その他	1,479	1,469	
一般財源	50	0	0
当初人員配置数	0.1	0.1	0.0
人件費（千円）	854	149	0
事業実績	河川清掃及び生態系調査		
決算額（千円）	1,469		
国県支出金			
地方債			
その他	1,469		
一般財源	0	0	0
人員配置実績数	0.1	0.0	0.0
人件費（千円）	828	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7 (上段実績、下段経費（千円）)	R8	R9
活1	指標名 河川維持管理活動の実施回数	回	16	7	20		
	実績につながる活動 市ホームページで協力団体を募集した				240		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	河川維持管理活動を協力団体に委嘱することにより、河川の良好な環境の維持に繋がった。協力団体数が5から4に減少し、協力団体数を確保することが課題となっている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No （最大3つ）
					実績			
成1	河川維持管理活動に参加する協力団体数	団体	5	7	4			

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	成果指標No.1について、目標値5に対して4となり、目標を達成することができなかった。人員や資材置き場の確保などが課題であるが、協力団体の確保のため広報活動についても検討する必要がある。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	河川維持管理活動を協力団体に委嘱することにより、河川の良好な環境の維持に繋がった。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している	
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者	☐ なし
	有 効 性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない	
		事業費削減余地	☐ ある	☒ なし		
	効 率 性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない		
		公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性			
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する		
	今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容		
		前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし			
		活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たな課題あり	河川維持管理活動を協力団体に委嘱することにより、河川の良好な環境の維持に繋がった。協力団体数が5から4に減少し、協力団体数を確保することが課題となっている。		
		新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新規事業の必要性はない			
	総評	河川維持管理活動を協力団体に委嘱することにより、河川の良好な環境の維持に繋がった。協力団体数が減少したため、協力団体数の確保に取り組む。				上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	市と活動者が合意に基づき役割分担を定め、まちの美化活動を実施するアダプトプログラムを近隣市が実施している反面、市が協力団体に委嘱し、各団体が河川の清掃、生態系や水質の調査を実施している近隣市が確認できないことから他市比較が適切でない。
----------------------	---